

簡便な3次元計測機器を用いた自治体の 中小構造物の状況把握・維持管理手法の開発

株式会社ベシスコンサルティング

大規模技術実証期間：2024年～2028年

大規模技術実証の概要

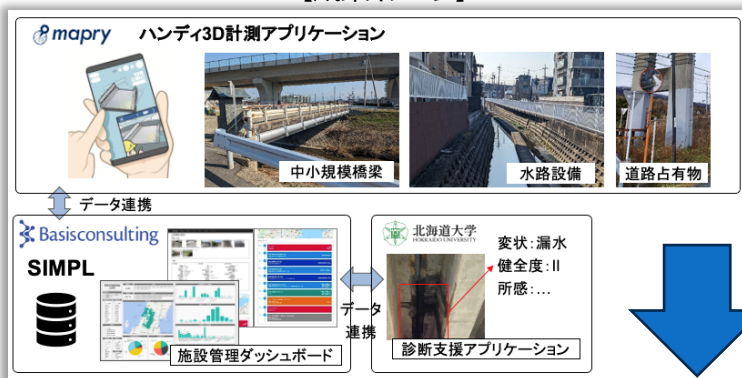
- 3次元計測機器（mapry）とインフラ管理システム（SIMPL®）を連携させ、カメラ映像、3次元データ、属性情報等を紐づけて、デジタルツインを活用したインフラの状況把握、維持管理を行うシステムを開発する。更にAIを活用した診断支援アプリケーションを開発し、データ管理から診断までをワンストップで行えるシステムの開発を目指す
- 自治体職員、コンサルタント、調査業者が簡便に使える点検ツールとインフラ管理システムを安価に提供し、デジタルツインを活用した社会資本管理で自治力向上を実現する

【開発技術のポイント・先進性】

- 中小規模のインフラ構造物に特化した状況把握、維持管理システム
- 構造物の現状把握・維持管理を簡便にワンストップで実現

⇒最終的に初期費用を抑えて、
小規模自治体でも導入可能な
クラウドサービスを提供

【成果イメージ】



【社会実装後の当面の目標】

- 社会実装5年後のR14年には、全自治体の10%相当にあたる180自治体での導入を目指す
- SIMPLや劣化診断AIをサードパーティーと連携することで、エコシステムを拡張し、R14年に年間売上27.5億円を目指す
- 地域で点検業務が完結することで自治力向上の実現

社会実装に向けての開発スケジュール・目標

【開発目標】 ・ デジタルツインによる複数種類の中小規模インフラ構造物の総合管理システムの開発

SIMPLとmapry連携

- ・ 橋梁に限定したソリューション開発
- ・ 水路管理向け計測アプリの設計

診断AIとの機能統合

- ・ 管理対象設備と機能の拡張
- ・ 診断のレポートニング機能実装

POC運用

- ・ 複数の自治体での運用開始
- ・ TRL8向けに操作性向上を図る

実証完了



2024年：TRL5～

2026年：TRL6～

2027年：TRL7～

2028年3月末

開発者からのメッセージ（実現を目指す将来像）

- 社会を支えるインフラの老朽化や災害の激化、就業者の減少など、生活の基盤が揺らぐ昨今、レジリエントなインフラを実現する持続可能な仕組みの構築が急務です
- 特に基礎自治体が管理する中小規模の設備は数が膨大であり、予算も限られていることから、簡易かつ低コストで導入可能なツールが必須です。本開発を通して、地方の自治体や土木の担い手による持続可能な社会の実現に貢献したいと思います



ベシスコンサルティング株式会社
代表取締役社長 石川 雄章

<会社概要>

- 企業HP：<https://basisconsulting.co.jp/>
- 本社所在地：東京都文京区本郷一丁目5-11水道橋こんびら会館4F
- 連絡先：singijyutsu@basisconsulting.co.jp